

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	南鳩ヶ谷・児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和6年8月16日		～ 令和6年9月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日		～ 令和6年9月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動・音楽・自立の活動を主とした中で、得意を伸ばし、苦手意識をやってみよう近づける療育	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みやすい手順 ・分かりやすい表現 ・成功体験で終わる 	各活動の担当者が年間カリキュラムをつくり、個の成長・成果を全体で把握できるように
2	1対1の個別課題で、個の成長を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に取り組む集中力をつける。 ・できる事を伸ばし、自信に繋げる。 	職員全員が個の成長を、把握している状態をつくるために、記録の習慣をつける。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時や面談以外の保護者交流が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動参観や、保護者交流会を開催する。 	学年別や、就学児対象等に分けて、保護者同士の横のつながりや、職員と保護者のより良い関係性づくりに努める。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リズム南鳩ヶ谷 児童発達支援					公表日	令和6年10月21日	
		利用児童数	18		回収数	14		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2			いっぱい休ませているようです。	ありがとうございます。今後も、安全に考慮して行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14				安心して預けられる人数いると思う。	職員の定着維持に努め、手厚い支援を目指します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				いつもきれい。	継続・維持に努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				面談でしっかりお話をして支援計画を 作ってくれている。	継続・維持に努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			2	いつも色々な事をしてくれるので、子どもも楽しんで活動している。	ご家庭にも、活動内容を分かりやすく伝えられるように努めます。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	4	4		今後は、歩行や公園遊びを通じて、地域の方への挨拶から取り組んでいきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				面談でいつも話している。	継続・維持に努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2		3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14				いつも連絡帳や送迎の時に様子も教えてもらっている。	継続・維持に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				定期的に面談してくれる。	継続・維持に努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13			1		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	1	3	まだ通い始めて半月なので、参加したことはないが、あることは聞いている。	契約時に、保護者会や、交流会の開催等の説明を徹底していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				相談しやすい環境にしている。	ありがとうございます。継続・維持に努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1			いつも写真が載っている通信を出してくれるので、楽しみにしています。	ありがとうございます。継続・維持に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	1	1		契約時に提示することを徹底します。 面談時や、避難訓練時に保護者様への周知にも努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			3	定期的に訓練してくれているので、子ども地震の時などは、どうすればいいか分かっている。	訓練の様子をSNSや、リスム通信で報告します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	3		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1	そのような状況になったことがないので、分からない。	事故・怪指・体調不良の際、職員対応がスムーズに行えるように、職員間で共有してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13		1		先生、お友達が大好きと言って、安心できる場所になっている。	ありがとうございます。全ての方に安心感を持ってもらえるように今後も努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2			いつも帰って来ると、楽しかった。と言っています。 早く行きたくてソワソワしながらお迎えを待っています。	ありがとうございます。全ての方が楽しく通所してもらえるように今後も努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1			とても成長が見られるので感謝しています。様々な体験をさせて貰って、ありがたく思います。 親的には不満はないのですが、子どもが行きたがらない時があるので困ります。	ありがとうございます。支援の充実を職員全員で考え、より良い施設になるよう今後も努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		南鳩ヶ谷・児童発達支援				公表日	令和6年10月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	多機能型の事業所のため、日中は、放デイの支援室を使用させてもらい、2つのグループに分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		発達支援室に水道があること。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	7		ケース会議や、ミーティングで共有。限られた時間の中で振り返りの時間をつくり皆で考えるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者交流会を今年度開催。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		施設長がミーティング時に職員へ意見を聞き事務作業の軽減に取り組んだ。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		現状の把握を、職員全員が認識している状態に努めます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		分かりやすいアセスメント表を作成して、関わる全ての職員が確認できるように、今後計画を立てる。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		自立、運動、音楽と3本の柱になっている。 担当が中心になり提案・実行している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			作成側から支援に繋がるように、職員間で考える時間が必要だと思う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	勤務時間の違いから、打ち合わせに参加できない職員には、要点として伝える。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	支援後の打ち合わせは、全員参加ではないが記録にして気づきの共有は行っている。 優先順位を立てて時間を無駄にしないようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	記録を取る習慣をつける。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	利用者様の成長に合わせて、見直しをしている。 保護者様に、事業所以外での様子も聞き、必要な場合は見直しを提案している。	全員で見直す時間をつくる。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		会議以前に、職員より情報を集約しておき、質問に繋げたり、2人体制で訪問している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	地域保健センター職員（保健士）と連携している利用者様がいる。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保育園、幼稚園へ訪問して、情報共有を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	直接、または電話での情報共有をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	子ども部会を通じて、保護者支援についての情報をいただき、支援方法についてもグループディスカッションで参考意見を聞く機会があった。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	児童館や、公園に行った際に職員が間に入り一緒に遊べるように促している。	公園遊びでは、最低限の交流のみの場合が多い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	地域の保健士さんに、保護者向けの講習会をお願いしているところ。 今後、計画中。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	今年度2回の開催を予定している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		鳩フェスで地域の方に施設を知ってもらい、児童発達支援を卒業した方も来て頂いた。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎週予定を組み、訓練を行う。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	2		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	医師の指示書が必要な利用児は現在無し。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7				